

2021年度  
第2四半期(上半期)報告  
説明資料

2021年11月24日

 朝日生命保険相互会社

# 【参考】中期経営計画「Advance ～The road to 2030～」

中期経営計画  
「Advance ～The road to 2030～」  
(2021～2023年度)  
2030年に向けた成長の道筋をつくる3カ年

当社ならではの新たな領域への挑戦  
なないろ生命設立によるグループ戦略  
デジタル化に対応したDX推進  
ヘルスケア分野での新たな価値提供  
海外事業の拡大

## 「TRY NEXT」の取組みの進化

医療・介護保険への注力  
営業職員体制の質・量の拡充  
マルチチャネル化の推進

前中期経営計画  
「TRY NEXT」  
2018～2020年度

独自性を発揮し、  
成長を実現するステージ

## 「2030年のありたい姿」

人生100年時代を迎え、生命保険事業を通じて、社会の課題解決に貢献する会社、  
お客様の“生きる”を支え続ける会社

「当社の強みである医療・介護保障分野に加え、  
今後拡大するヘルスケア分野にも注力し、  
独自性のある会社として存在感を発揮」

「お客様一人ひとりのニーズに応じた最適な  
商品・サービスを最適なチャネルで提供」

130年の伝統の継続

経営の基本理念「まごころの奉仕」のもとお客様満足の向上を最優先とする経営の実践

# 2021年度第2四半期(上半期)報告のポイント

- ▶ 保険業績(新契約)は、前年度上期実績を上回りました。また、新型コロナウイルスの影響がない前々年度の上期実績を上回りました。
- ▶ 基礎利益は、利息および配当金等収入の増加による逆ざや額の改善により増加しました。

## 2021年度上半期の取組みについて(トピックス~中期経営計画の取組み~)

### マルチチャネル化の推進

### なないろ生命設立によるグループ戦略

- 営業職員チャネルの保障性商品の新契約業績は、新型コロナウイルス感染症の影響が前年に比べ小さく、前年度上期実績を大きく超過。
- 代理店チャネルの保障性商品の新契約業績は、テレマーケティングを通じた保険販売が好調であり、前年度上期実績を超過。
- 2021年4月に主に乗合代理店やダイレクトマーケティングを通じて、医療保険などの商品を提供する「なないろ生命保険株式会社」を開業。2021年10月から保険商品の販売を開始。  
※なないろ生命は10月からの保険販売開始であるため上半期実績の記載はございません。



### 医療・介護保険への注力

- 2021年10月に東京大学との共同研究の成果を活用し、健康に不安がある方もご加入いただきやすい引受基準緩和型の介護保険「かなえる介護年金」を発売。(詳細はこちら)



### ヘルスケア分野での新たな価値提供

### デジタル化に対応したDX戦略

### 海外事業の拡大

- 2021年10月に投薬治療をサポートする保険「おくすりサポート」と健康アプリ「kencom × ほけん for おくすりサポート」の提供を開始。(詳細はこちら)
- 2021年7月に営業活動の効率向上に向け、AIを活用した「推奨活動自動立案」の仕組みを構築。(詳細はこちら)
- 2021年4月に海外事業の拡大に向け「海外・ダイレクト事業部」を新設。

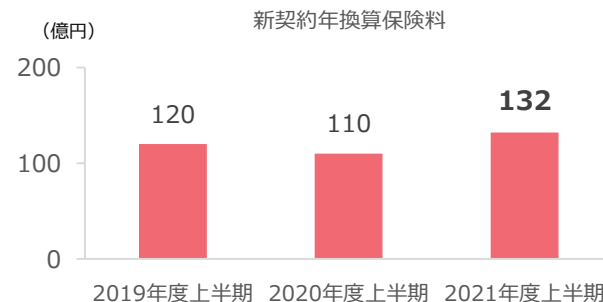


# 1. 業績の状況(個人保険・個人年金保険)

- ◆ 新契約年換算保険料は、132億円と前年同期比119.6%となりました。第三分野については、112億円と前年同期比122.7%となりました。
- ◆ 消滅契約年換算保険料(解約+失効+減額-復活)は、118億円と前年同期比110.3%となりました。
- ◆ 保有契約年換算保険料は、5,160億円と前年度末比99.0%となりましたが、第三分野については2,243億円となり、前年度末比101.3%と増加しました。

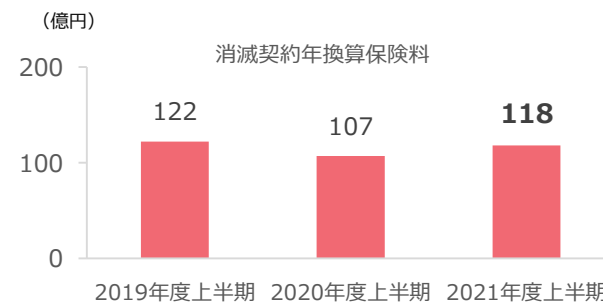
## 新契約の状況

区分	2019年度上半期	2020年度上半期	2021年度上半期	
			前年同期比	
新契約年換算保険料	120億円	110億円	132億円	119.6%
うち新規契約	101億円	93億円	116億円	124.5%
うち転換純増加	19億円	16億円	15億円	93.2%
うち第三分野	100億円	91億円	112億円	122.7%



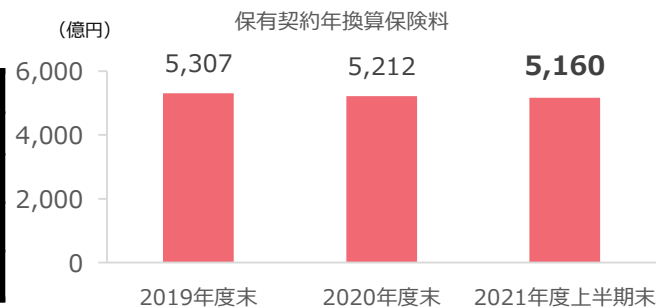
## 消滅契約の状況

区分	2019年度上半期	2020年度上半期	2021年度上半期	
			前年同期比	
消滅契約年換算保険料 (解約+失効+減額-復活)	122億円	107億円	118億円	110.3%
うち解約・失効契約	112億円	100億円	111億円	111.7%
対年度始消滅率	2.26%	2.03%	2.28%	+ 0.25ポイント



## 保有契約の状況

区分	2019年度末	2020年度末	2021年度上半期末	
			前年度末比	
保有契約年換算保険料	5,307億円	5,212億円	5,160億円	99.0%
うち第三分野部分	2,157億円	2,214億円	2,243億円	101.3%
構成比	40.7%	42.5%	43.5%	+ 1.0ポイント

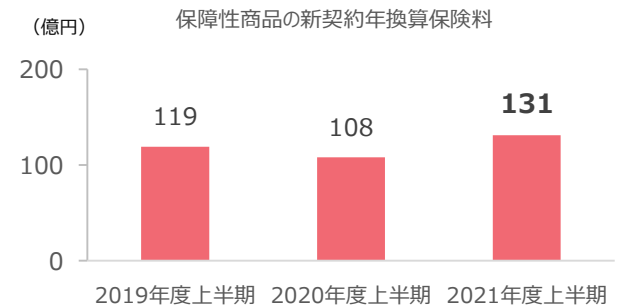


## 2. 保障性商品の業績の状況

- ◆ 保障性商品の新契約年換算保険料のうち営業職員チャンネルは、97億円と前年同期比126.5%となりました。代理店チャンネルは、34億円と前年同期比108.0%となりました。
- ◆ 保障性商品の保有契約年換算保険料は、3,074億円と前年度末に比べ17億円増加しました。

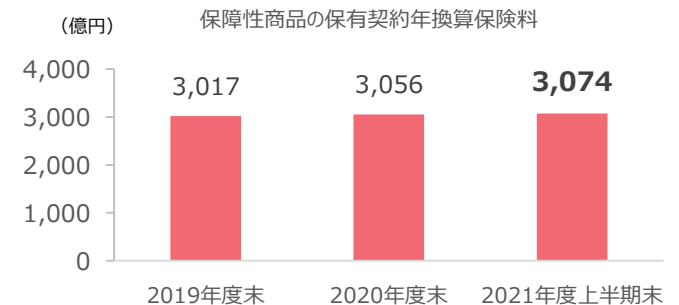
### 保障性商品の新契約の状況

区分	2019年度 上半期	2020年度 上半期	2021年度上半期	
			前年同期比	
新契約年換算保険料	119億円	108億円	131億円	121.0%
うち営業職員チャンネル※	85億円	76億円	97億円	126.5%
うち代理店チャンネル	34億円	32億円	34億円	108.0%



### 保障性商品の保有契約の状況

区分	2019年度末	2020年度末	2021年度上半期末	
			前年度末差	
保有契約年換算保険料	3,017億円	3,056億円	3,074億円	+17億円
うち営業職員チャンネル※	2,829億円	2,828億円	2,827億円	△0億円
うち代理店チャンネル	187億円	228億円	246億円	+18億円



※ 営業職員チャンネルには、代理店経由での法人契約を含みます。

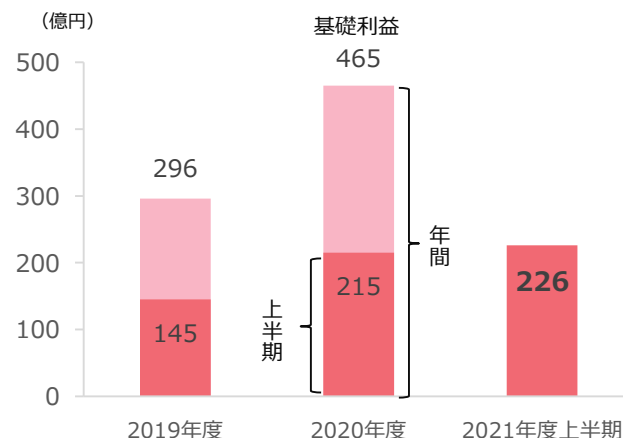
(注) 保障性商品とは、貯蓄性商品および経営者向け保険のグランドステージ・プライムステージを除く、死亡保障および医療保障・介護保障・代理店で販売している無配当団体医療保険等の第三分野の合計です。

# 3. 収支の状況

- ◆ 基礎利益は、226億円となり、前年同期と比べ10億円増加しました。
- ◆ 保険関係損益は、主に営業職員数増加による事業費の増加により、前年同期と比べ29億円減少しました。
- ◆ 利差損益(逆ざや額)は、利息および配当金等収入の増加ならびに高予定利率契約の満期等による予定利息の減少により、前年同期と比べ40億円改善しました。

## 基礎利益の状況

区分	2019年度上半期	2020年度上半期	2021年度上半期	
			対前年同期増減	
基礎利益	145億円	215億円	226億円	+10億円
保険関係損益	402億円	416億円	386億円	△29億円
利差損益(逆ざや額)	△257億円	△200億円	△159億円	+40億円



## <参考①> 保険料等収入の状況

区分	2019年度上半期	2020年度上半期	2021年度上半期	
			対前年同期増減	
保険料等収入	1,955億円	1,932億円	1,925億円	△7億円

## <参考②> 経常利益・中間純剰余の状況

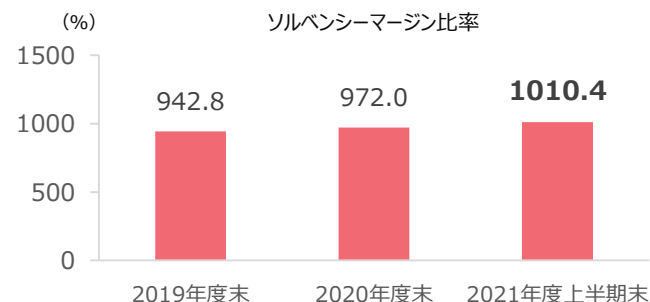
区分	2019年度上半期	2020年度上半期	2021年度上半期	
			対前年同期増減	
経常利益	260億円	247億円	263億円	+15億円
中間純剰余	194億円	172億円	192億円	+20億円

# 4. 財務の状況

- ◆ ソルベンシー・マージン比率は、剰余の積み上げおよびその他有価証券の含み益の増加等により1,010.4%となり、前年度末に比べ38.4ポイント上昇しました。
- ◆ 実質純資産額は、11,822億円となり、前年度末に比べ223億円増加しました。

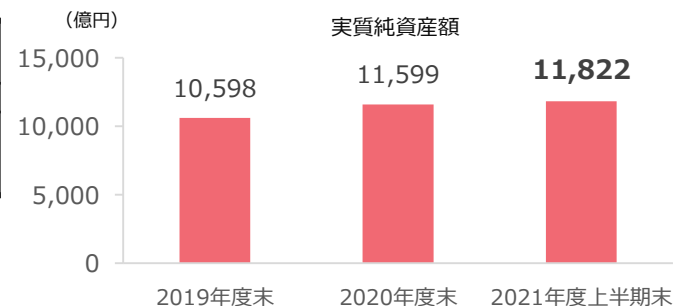
ソルベンシー・マージン比率の状況

区分	2019年度末	2020年度末	2021年度上半期末	
			対前年度末増減	
ソルベンシー・マージン比率	942.8%	972.0%	1,010.4%	+38.4ポイント



実質純資産額の状況

区分	2019年度末	2020年度末	2021年度上半期末	
			対前年度末増減	
実質純資産額	10,598億円	11,599億円	11,822億円	+223億円



<参考> 有価証券の含み損益  
有価証券の含み損益の状況【一般勘定】(有価証券のうち時価のあるもの)

区分	2019年度末	2020年度末	2021年度上半期末	
			対前年度末増減	
有価証券全体	4,724億円	5,361億円	5,417億円	+56億円
うち国内株式	930億円	2,279億円	2,357億円	+77億円
うち国内債券	3,229億円	2,373億円	2,309億円	△64億円
うち外国証券	643億円	627億円	692億円	+65億円
うちその他の証券	△109億円	56億円	35億円	△21億円

# 【参考】中期経営計画の進捗状況

中期経営計画「Advance ～The road to 2030～」における経営戦略目標の進捗

- ◆ 中期経営計画における経営戦略目標の各項目実績については、着実に伸展しています。
- ◆ 注力する介護保険新契約件数については、大幅に伸展しました。

経営戦略目標の進捗状況

	2023年度目標	2021年度上半期の状況
グループお客様数	280万名	261.1万名 (前年度末差+0.8万名)
グループ保障性商品の 新契約年換算保険料	350億円	131億円(4-9月実績) (前年同期比121.0%)
グループ介護保険新契約件数	11.7万件	6.3万件(4-9月実績) (前年同期比142.0%)
グループ保障性商品の 保有契約年換算保険料	3,300億円	3,074億円 (前年度末差+17億円)

※保障性商品：貯蓄性商品および経営者向け保険のグランドステージ・プライムステージを除く、死亡保障および医療保障・介護保障・代理店で販売している無配当団体医療保険等の第三分野の合計です。

※グループ：朝日生命となないろ生命



# 【参考】新型コロナウイルス感染症に対する対応について

## 保険金・給付金のお支払い状況

	2021年度 上半期	(ご参考) 2020年度
死亡保険金等	14,050件 405億円	29,078件 841億円
うち 新型コロナウイルス 感染症によるもの	246件 10.3億円	141件 7.0億円

	2021年度 上半期	(ご参考) 2020年度
入院給付金等	154,055件 117億円	280,694件 224億円
うち 新型コロナウイルス 感染症によるもの	7,352件 9.0億円	3,379件 4.0億円

## ご契約に関する各種お取扱いの実施(実施時期)

- 契約者貸付の利息免除 (2020年3月～2020年9月)
- 保険料払込猶予期間の延長 (2020年3月～2022年2月(※緊急事態宣言発令日から6ヵ月後の月末まで))
- オーバーローン失効予告中契約の返金猶予期間の延長 (2020年3月～2022年2月(※緊急事態宣言発令日から6ヵ月後の月末まで))
- ご融資先の法人のお客様を対象としたご返済条件の変更 (2020年3月～)
- 給付金請求書類の一部省略、代筆書類による請求書などのお取扱い (2020年3月～)
- 病院または診療所にご入院できない場合に、入院給付金のお支払い対象とするお取扱い(みなし入院扱い) (2020年3月～)
- 新型コロナウイルス感染症を災害保険金等のお支払い対象とする約款変更(一部商品を除く) (2020年3月～)

## その他の対応

- 生命保険ご提案時の「オンライン面談」、お申込手続き時の「WEB申込」など非対面手続きのお取扱いを順次拡大
- 新型コロナワクチンの職域接種を実施